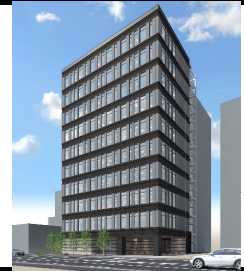


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東比恵4丁目オフィス 新築	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市博多区東比恵4丁目4	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	1,300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,750 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	1,026 m ²	作成者	有澤建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	534 m ²	確認日	2021年12月1日
延床面積	4,857 m ²	確認者	有澤建設株式会社一級建築士事務所



さい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 緑化により周辺地域の良好な住環境へ寄与しつつ、快適な執務空間を備えたオフィスビル計画となっている。		その他 特になし
Q1 室内環境 窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な執務空間とした。 使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。	Q2 サービス性能 階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。	Q3 室外環境(敷地内) 外部緑化を積極的に採用し、景観形成に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 断熱性能を高めるよう、外壁裏面に断熱材を設けた。 照明は全てLEDを採用し、消費電力を抑える計画とした。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨材料ができる限り少なくなるような構造とした。 OAフロアの採用等、解体時のリサイクルに配慮。 F☆☆☆☆建材を採用する。	LR3 敷地外環境 敷地外にゴミが散乱しないように、ゴミ置場を建物内に設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される